

## 岩手大学シーズ紹介

# 高付加価値型ものづくり技術振興雇用創造プロジェクト 研究成果報告会

この度、岩手大学が「高付加価値型ものづくり技術振興雇用創造プロジェクト」で進めてきた研究成果の発表会を下記のとおり開催します。ご参加くださるようご案内申し上げます。

■日時:平成31年3月26日(火) 14:00~17:00

■会場:北上オフィスプラザ 2F セミナー室  
(JR北上駅からタクシーで15分 TEL 0197-71-2171)  
URL:<https://kop.jp/op/index.html>

■主催:高付加価値型ものづくり技術振興雇用創造プロジェクト、  
岩手大学三陸復興・地域創生推進機構  
岩手ネットワークシステム(INS)

■講演:

(1) 14:05~15:00

「難削材加工の研究」

岩手大学理工学部 機械科学コース 教授 水野雅裕

[概要] インコネル 718 は高温強度や耐食性に優れている反面、難削材料として知られている。本講演では、インコネル 718 の旋削加工およびタップ加工における加工特性について述べる。また、優れた耐食性を持つことから流路形成材としての需要が高い SUS316 のドリル加工において、ドリルへの超音波振動の付与がドリル出口側のバリ高さの低減に与える効果について述べる。

(2) 15:00~15:55

「FSW 回転ツール用合金『COBARION159』の開発」

岩手大学理工学部 客員准教授 柳原圭司

[概要]アルミニウム合金の FSW(摩擦攪拌接合)では、回転ツールの素材として耐久性の高い Co-Ni 合金が使用されているが、輸入材ゆえ、非常に高価で且つ納期が不安定という問題を抱えている。これに対し、県内企業と連携し、従来より高い耐久性と低コストを両立する合金、『COBARION159』の開発を行った。

~ 休憩 ~

(3) 16:05~17:00

「トリアジン系ポリマーを用いる耐熱性炭素繊維複合材料  
(CFRP)の開発」

岩手大学理工学部 化学コース 教授 大石好行

[概要] トリアジン環を含む高分子は、水素結合やスタッキングなどの強い分子間相互作用を有することから、無機材料や金属材料と容易に複合化することによって、有機-無機ハイブリッド材料、高屈折率複合材料、高熱伝導性複合材料、耐熱性接着材料、高耐熱性炭素繊維強化複合材料(CFRP)を開発することができる。

■参加費:無料

講演終了後に、講師との名刺交換の時間を設けています。

■申込先:添付申込書にて、下記宛てにお申し込み下さい。

岩手大学:柳原 E-mail:[yanagi@iwate-u.ac.jp](mailto:yanagi@iwate-u.ac.jp)

TEL:0197-67-0585 FAX:0197-67-0586 (金型技術研究センター)

岩手大学シーズ発表

高付加価値型ものづくり技術振興雇用創造プロジェクト  
研究成果報告会

日時 3月26日(火) 14時00分～17時00分

標記報告会への参加を申込みます。

御社名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

ご参加者

お名前	部署・役職	メールアドレス

[お申し込み先]

岩手大学 理工学部 柳原あて

FAX : 0197-67-0586 (金型技術研究センター)

E-mail: yanagi@iwate-u.ac.jp

お申し込み締め切り

3月22日(金)